

進捗報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍で分断されたつながりの再構築事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク
実行団体名:	一般社団法人えんがお
実施時期:	2021年7月～2022年2月
事業対象地域:	栃木県
事業対象者:	人とのつながりが希薄な高齢者その予備軍

Version 1.2

日付: 2021年11月5日

I. 事業概要

<p>事業概要</p> <p>高齢者の孤立の予防と解消に向け、屋外スペースも活用した地域サロンを実施していく。また、サロンに来られない方など、つながりの希薄化が想定される高齢者には定期的に電話でつながりや健康状態の状況確認を行うサービスを実施。対象者は、これまでの業務で得たつながりをもとに、行政と連携して必要な人に情報を届け、本人の状態を地域包括支援センターなどにも共有していく。必要に応じて訪問も行い、本人に必要なサービスへとつなげていく。加えて、障がい者向けのグループホームを開設（法人2棟目）。地域での受け皿としての機能だけではなく、地域サロンとも連携し、障害者が地域と関わりながら役割をもって生活する拠点を増やしていく。</p>
--

II. 進捗報告の概要

<p>総括</p> <p>全体的には、概ね予定通り実行できている。電話による健康確認サービスは当初の想定以上の効果が得られた。また、研修会の意見から生まれた「文通サービス」も高齢者・学生共に喜ばれ、人によっては手紙が楽しくて返事を書く前に追加で手紙が届くようなケースも2ケースあった。グループホームから地域サロンに参加する人も増え、精神・知的障害を抱えた人と地域の高齢者が日常的に交流することが増えた。加えて、想定していなかった部分として、不登校生の問い合わせやサロン参加が増え、不登校生に対するサービスの充実やスペースの確保が必要となった。</p>
--

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>①市内の高齢者50世帯とつながる。つながった世帯には、定期的に健康確認を実施。制度では対応できない困りごとに対しては、訪問して対応する。訪問の目標を年間500件（②・③・④）とする。結果、人とのつながりが希薄な高齢者が他者と定期的に繋がり、安心して生活できる。また、その後に高齢者の強みを地域で生かし、障害者のサポートやイベントの料理など、地域のプレイヤーとして活躍してもらう（⑤）。</p> <p>・障害を抱えた人が地域で暮らしたいと思った時に、選択肢がある中で選べる状態となる（⑥・⑦）。また、そういった施設で生活する際に、日常的に地域と関わり、世代や立場に関係なく人と関わることで生きる力を身につけられる環境ができる。</p> <p>・すべての事業に、学生や若者を活動体験者として受け入れ、若者が主体的に現場で学びながら自分でも地域の課題を捉え、解決の方法を思考できる（⑧）。</p>	<p>①関わる高齢者世帯数 22世帯/30世帯 ②高齢者との会話時間の総数 160時間 ③訪問の件数 86件/320件 →電話の満足度が高い ④健康確認を行なった件数 170件/400件 ⑤その中から地域のプレイヤーとして活動した人数 1人/5人 ⑥障害者向けグループホームの入居者数 10人/7人 地域交流型のニーズ↑。増設。 ⑦入居者の中で、地域のサロンなどに参加した人数 計測中/延96人 ⑧活動者体験者数 400人/延600人 追加：高齢者×若者 文通プロジェクト</p>

活動	進捗状況	概要
多世代交流サロン・健康確認	ほぼ計画通り	行政機関にも周知し、日中孤立状態にある高齢者の紹介があったり、不登校生の紹介なども増え、多世代の居場所となっている。関わった高齢者には、コロナで休業中も電話による健康確認やつながりを感じる時間を提供できた。学生から電話が来た！などと楽しそうに話す高齢者も増えた。引き続き継続していくと共に、新規でつながる孤立予備軍の高齢者との関わりを拡大を目指す。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>感染状況を見ながら、一年後には高齢者や若者、障害者に加えて子ども・子育て世代が気軽に立ち寄り、日常的に多世代が関われる居場所作りを目指す。本助成金でコロナ禍でも事業が安定して実施できたことで、新規事業としての子ども事業の準備が想定以上に早く進められた。また、グループホーム事業を立ち上げ、その利用者がしやすい環境づくりとしてスタッフがサポートに入れたことで、障害を抱えた方が日常的に、当たり前の中で地域の人と関わる環境を作ることができた。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥3,276,000	¥3,276,000	¥1,208,500	37%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥3,276,000	¥3,276,000	¥1,208,500	37%

補足説明	
------	--

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>コロナ禍でつながりが希薄したことで、現場での事態の悪化は避けられず、感染が落ち着いてから一気にニーズが降りてくる状況が目立った。コロナ禍での予防策の実施と共に、降りてきたニーズに応えられる組織体制と準備が必要である。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	下野新聞・読売新聞
広報制作物等	有	えがお通信（自社広報誌）
報告書等	無	事業報告書作成予定

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	年に一回の実施及び、必要時に電子化によって相談を行っています。
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	福祉施設制度に基づいた制度整備があります。